

田中裕子 窪塚俊介 高橋伴明 監督作品

田中松子、窪塚俊介、田沼圭太、池田千鶴、遠山景樹子、岸部一徳、石田秀穂

山田裕子 雛鶴洋子 黒沢のうか 他脚 田嶋一馬 田中景樹 田中伸一郎 德田裕子





女性陶芸家の草分けであり、骨髓バンク立上げに力を尽くした  
神山清子。今も信楽で日々窯を焚く女性の真実の物語

火火  
ひび

独自の古代穴窯による信楽自然釉を成功させて陶芸界に新風を吹き込む女性陶芸家であり、また息子・賢一の発病をきっかけに骨髓バンク運動を始め、全国の白血病患者を勇気づけ続ける女性としても名高い神山清子。

「火火」は、実在するひとりの女性の、芸術家として、母として女として火のように生きる姿を描く、実話に基づく人間贊歌、命の贊歌である。



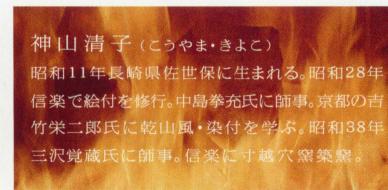
白血病に倒れた息子。  
母は菩薩となり、鬼となる

夫に去られ、女手ひとつで二人の子供を育てながら、長年の夢である穴窯による自然釉を成功させたいと願う女性陶芸家、神山清子。だが、極貧の生活の中で続けた窯焼きの挑戦も失敗を繰り返し、何度も失意に打ちひしがれる。そして、数年、煙突から夜空に真っ赤な炎を吹き上げるほどに焚き続けた2週間が過ぎた窯出しの日。窯に入った彼女の瞳に小さな光が反射する。花入れや壺、水指がビードロをつけ可憐な色に染まっている。ついに訪れた成功的な瞬間だった。だが、幸せは長くは続かない。同じ陶芸の道を歩み始めた息子の賢一が、突然倒れた。医師の診断は白血病、HLAの適合する骨髄の移植が生存の唯一の道。清子はこの日から、鬼となり、菩薩となった。



日本映画の才能が結集した、  
感動の最高傑作

主演で神山清子を演じるのは、田中裕子。息子・賢一役には新人窪塚俊介が起用され、映画デビュー。さらに石田えり、岸部一徳、池脇千鶴、黒沢あすか、遠山景織子など実力俳優が出演する豪華キャストで、滋賀県出身のサッカー元日本代表、井原正巳が特別出演しているのも話題である。脚本・監督は「愛の新世界」「光の雨」など人間の激しく狂おしい性(さが)を鮮烈に描いて定評のある高橋伴明。清子に亡き母の姿をだぶらせ、一年余の歳月をかけて渾身の脚本を書下ろした。撮影は「Shall Weダンス?」の稻野直樹、音楽は「LOVERS」の梅林茂。日本映画の才能が結集し、感動の最高傑作を作り上げた。



窯の火、土、陶芸作品。  
息を呑む<本物>の美しさ

穴窯、燃える火、そして数多くの陶芸作品、この映画ではすべて本物が使われている。大量の薪を呑み込み1200度もの高温で燃えかかる火、激しくその火に焼かれる陶芸作品の数々、それらすべてを本物で撮りたいと望んだスタッフの願いは、映画のモデルである神山清子の献身的な協力によって実現した。清子は、映画のロケセットとして自宅と工房、2つの穴窯を撮影用に提供、さらに田中裕子、窪塚俊介など出演者への作陶指導はもとより、映画に登場する数百点に及ぶ陶芸作品のすべてを制作、提供したのである。火、土、ビードロ、スクリーンでは、本物が息を呑む美しさで輝いている。



1月22日(土)より愛と命のロードショー!

特別鑑賞券¥1,300(税込)絶賛発売中!(当日一般¥1,800の処)

劇場窓口でお求めのお客様に限り立木義浩さん撮影の神山清子「陶芸作品」ポストカードをプレゼント

シネスイッチ銀座

銀座4丁目交差点・和光ウラ通り tel.03-3561-0707 <http://www.cineswitch.com>

11:30 2:00 4:30 7:00

新宿武蔵野館

JR新宿駅中央東口・三越裏 武蔵野ビル3F  
tel.03-3354-5670 [各回入替・整理券制]  
<http://www.musashino-k.co.jp>

11:50 2:10 4:30 6:50

横浜シネマ・ベティ

京浜急行金町駅下車5分 tel.0120-19-8009  
<http://www.cinema-voice.com>

10:30 12:35 2:40 4:45 6:50

\*横浜の上映劇場が関内MGAからシネマ・ベティに変わりました。特別鑑賞券はそのままご使用になれます。

立木義浩「火火」写真展 1/5~1/19 新宿シリウス tel.03-3350-1211

神山清子「火火」作陶展 2/9~2/15 銀座松坂屋別館4階美術画廊 tel.03-3572-1111(代)

